

町立小・中学校等施設耐震化状況一覧表

■学校施設(2階以上又は延床面積200㎡以上の建物)

H26年1月現在

	学校名	建物区分	棟番号	建設年月	保有面積	構造・階層	耐震診断状況	耐震指標(Is値)	備考
1	生板小学校	校舎	12	S56.10	1,326	RC3	実施済	耐震化済	H25.12補強工事完了
		校舎	19	H12.3	137	RC2	新耐震基準	—	
		校舎	15	H11.3	1,912	RC2	新耐震基準	—	
		校舎	18	H11.3	44	RC2	新耐震基準	—	
		体育館	17	H21.3	821	S1	新耐震基準	—	
2	みずほ小学校	校舎	10-1	S54.8	2,201	RC3	実施済	耐震化済	H22.11補強工事完了
		体育館	9	S53.3	571	RC1	実施済	0.84	耐震性有
3	金江津小学校	校舎	10	S52.10	2,728	RC3	実施済	耐震化済	H24.1補強工事完了
		体育館	12	S60.3	1,022	RC1	新耐震基準	—	
4	河内中学校	校舎	28	H22.3	571	RC3	新耐震基準	—	
		校舎	17	S54.5	1,611	RC3	実施済	耐震化済	H22.3補強工事完了
		校舎	18	S54.5	1,024	RC2	実施済	耐震化済	H22.3補強工事完了
		体育館	20	H7.3	1,430	RC2	新耐震基準	—	
5	金江津中学校	校舎	1-1	S37.3	336	RC2	未実施 (構造上1棟)	不明	
		校舎	1-2	S38.3	327	RC2			
		校舎	1-3	S55.1	199	RC2			
		校舎	2	S55.1	1,411	RC2	未実施	不明	
		体育館	15	H6.2	1,082	RC2	新耐震基準	—	
6	かわち認定こども園 (河内第一幼稚園)	園舎	1	S55.5	804	RC1	実施済	1.09	耐震性有
		体育館	2	H21.3	284	S1	新耐震基準	—	

※着色部の意味  :耐震診断(2次診断等)の結果Is値が0.7以上と判明している、新耐震基準により建設されている、又は補強工事完了等により耐震性能が確保されている建物について着色しています。

《用語の解説》

「耐震指標」(Is値)について

耐震診断等により算出される指標で、建物の耐震性能を表す指標であり、この数字が大きくなるほど耐震性能が高いこととなります。国土交通省告示で以下のとおり示されています。

Is値<0.3 :大規模な地震の振動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

0.3≦Is値<0.6 :大規模な地震の振動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

0.6≦Is値 :大規模な地震の振動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※文部科学省では児童生徒の安全性と避難場所としての機能を考慮し、学校施設についてはIs値を0.7以上確保することとされています。

「耐震診断」について

建築基準法施行令が改正(昭和56年6月1日施行)され、建築物の構造計算等に関して、新しい基準(新耐震基準)に見直しがされました。それ以前の基準(旧耐震基準)で建設された建物については、大地震を想定した設計ではないため、耐震診断を実施して耐震性があるかどうかを診断します。その結果、耐震性が低い(Is値0.7未満)と診断された場合は、耐震化補強工事が必要となります。

「保有面積」

公立学校施設台帳等に使用される文部科学省基準による面積。(当町施設は延床面積と近似値)